

各 位



2026年4月28日

会社名： ヤ シマ 八 洲 電 機 株 式 会 社  
代表者名： 代表取締役社長兼 清 宮 茂 樹  
            グ ル ー プ C O O  
( コード： 3 1 5 3 東証プライム市場 )  
問合せ先： 経営統括本部 ブランド戦略ユニット 菱 山 賢  
            ユ ニ ッ ト リ ー ダ ー  
( T E L : 0 3 - 3 5 0 7 - 3 3 4 9 )

## 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2026年度から2028年度まで（2027年3月期から2029年3月期まで）の3カ年の中期経営計画「Happiness2028 中期経営計画」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### ■ 「Happiness2028 中期経営計画」（2026～2028年度）について

1. 基本方針 「社員の幸せが原動力となる循環型成長の実現」
2. 数値目標 2028年度

売上高	850 億円
経常利益	95 億円
経常利益率	11.2 %
3. 期間 2026年度から2028年度まで（2027年3月期から2029年3月期まで）
4. その他 詳細については、添付資料をご確認ください。

※ 上記の予想数値につきましては、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上

# 『 Happiness2028 中期経営計画 』 (2026年度～2028年度)

2026年4月28日  
八洲電機株式会社

# 目次

1. はじめに
2. 振り返り
3. 目指す姿
4. 全体概要
5. 事業戦略
6. 社会貢献

# 1. はじめに

# 1. はじめに (1) 創立80周年

八洲電機株式会社は

令和**8**年**8**月**8**日に創立**80**周年を迎えます

**80**<sup>th</sup>  
Anniversary

社名に**八**がある通り  
**80**周年は**特別な年**

**80**周年YEAR  
(2025年8月9日~2027年8月7日)

令和8年(2026年)を周年とするグループ会社  
●八洲ファシリティサービス(株)創立50周年(1976年9月1日設立)

## 2. 振り返り

## 2. 振り返り

事業系戦略の推進により業績向上を実現。  
ウェルビーイング経営を強化し、更なる事業成長を目指す。

### ■ 中計の業績比較

連結	前々中計	前中計	伸長率
	2023年度 最終年度実績	2025年度 最終年度見通し	
売上高	648	750	15.7%
経常利益	40	72	80.0%
経常利益率	6.2%	9.6%	—

### ■ 前中計の成果

→事業系戦略により **業績向上**

### ■ 前中計の事業系戦略

- ・ 優良顧客開拓
- ・ 西日本の体制強化
- ・ グループ連結経営の強化

### ■ 前中計ウェルビーイング経営の主な取組み

- ・ 処遇改善
- ・ 交流活性化
- ・ ブランド力向上
- ・ 育成強化
- ・ コミュニケーション強化

### 前中計の課題

- 管理系イノベーションの継続強化
- ウェルビーイング経営の効果の見える化

→ **エンゲージメント・サーベイの導入**

# 3. 目指す姿

2026年度よりスタートする「Happiness2028 中期経営計画」

## キーワードは「ハピネス」

事業成長のすべての起点が社員のハピネスにあると確信を持っている。

社員が幸福であれば一人ひとりが自律的に行動し、事業は自ずと成長すると信じている。

社員一人ひとりの“ハピネス”を力に変え、八洲電機グループの持続的成長を実現していく。

## Happiness2028 中期経営計画のスローガン

ハピネスから、ビジネスを。

Well-beingとDXで、成長の循環を創造する。

私たちが見据えるのは、社員の幸せとビジネスが高め合う、  
新たな企業成長のカタチです。  
Well-being経営を通じて、一人ひとりの働く幸せを挑戦の力へ。  
DXとコア技術の融合により、価値創造の循環を加速させていきます。

### 3. 目指す姿（3）基本方針

## ■ 社員の幸せが原動力となる循環型成長の実現

一人ひとりのハピネスを力に変え、  
持続的成長を目指す



Happiness



Happiness2028 中期経営計画が目指すもの

社員一人ひとりが  
「八洲で働くことを好きになり、誇りを持つ」  
—成長を実感でき、仲間とともに未来を創っていける職場—

マインドを変革し、デジタルを活用したコア技術と  
DXにより業績向上を目指す

Happiness2028 中期経営計画

## 4. 全体概要

## 4. 全体概要 (1) 戦略の柱

### ■ 経営理念である「信 愛 和」の精神を受け継ぎ、3つの柱を推進

1 ウェルビーイング

信



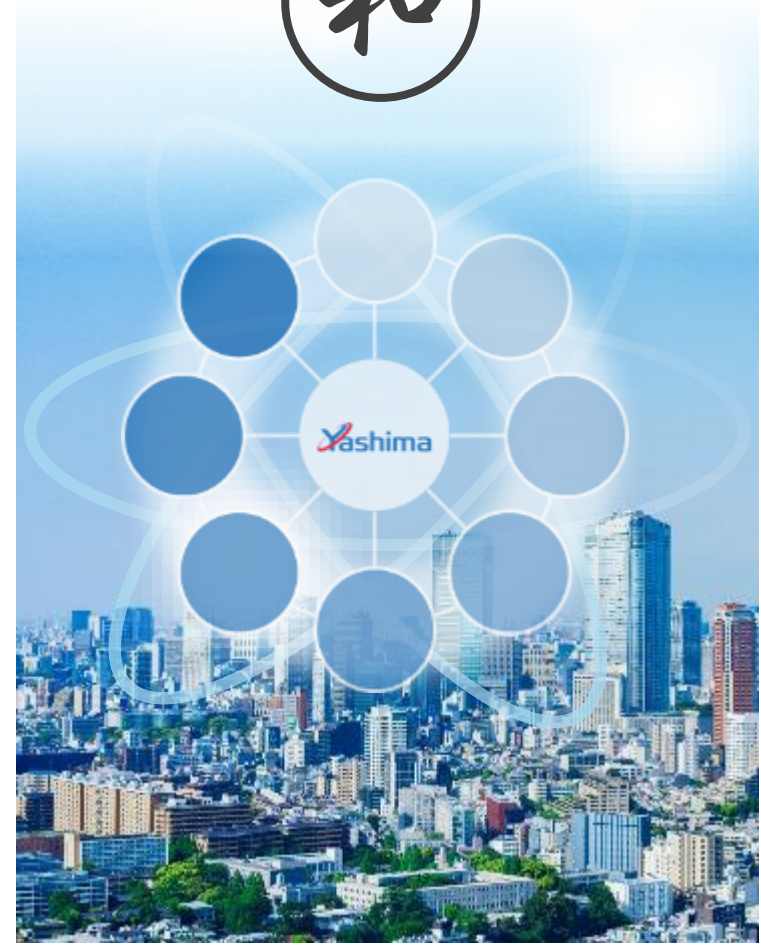
2 DX戦略

愛



3 グループシナジー

和



1

## ウェルビーイング

— 信 —

社員に信用・信頼される会社

社員のハピネスを  
事業成長の原動力と捉え、  
その実現に向けた  
エンゲージメント向上  
施策を展開する。

### 1 ウェルビーイング



## エンゲージメント・サーベイを導入

### 目的

「従業員の心理状態や特性、組織のカルチャー等」を可視化することで、よりよい意思決定や行動のきっかけを組織の中に生み出し、エンゲージメントの高い組織づくりを目指す

### 目標

試験導入では、同規模企業の平均スコアと同等  
ここを起点（ゼロベース）として年間1ポイントアップ

## エンゲージメント・サーベイに基づく施策

- 処遇改善
- 人的資本投資の拡大
- 管理系イノベーションの継続
- 福利厚生充実

2

## DX戦略

— 愛 —

### お客様へ付加価値を届ける

時代の変化を的確に捉え、  
デジタルを軸に人財育成と  
事業成長を加速する。

業務効率の向上・価値創出力の強化・  
持続的な競争優位性の確立を目指す。

## 2 DX戦略



## 経営基盤DX

- 基幹システムの構築
- AI活用
- ITインフラの統合検討
- グループDX投資の推進
- DX教育の推進

## コア技術2.0

- エンジニアのリスキリング
- コア技術2.0での取組み

<コア技術2.0>

コア技術をさらに深化させ、同時にデジタル技術を付加することで、新たな価値創出を実現

3

## グループシナジー

— 和 —

## グループ一体で社会へ貢献

連結経営をより一層強化し、  
各社の事業・人財・ノウハウと強みを  
有機的につなぎ、理解することで、  
ソリューションの幅と提供価値を  
グループ全体で高めていく。

### 3 グループシナジー

# 「つながる力が、会社を強くする」

## グループ連携

- グループシナジーの最大化
- 連結経営の一層の強化

## グループ連携を強化する戦略投資

- 設備投資
- M & A 投資



# 5. 事業戦略

## 5. 事業戦略（1）セグメント



### プラント事業

カーボンニュートラルに、  
エンジニアリングとソリューションで貢献



### 公共・設備事業

公共・建設・データセンター事業で  
社会インフラの発展に貢献



### 交通事業

高付加価値ソリューションで、  
鉄道の安全・安定輸送に貢献



## ■カーボンニュートラルに、エンジニアリングとソリューションで貢献

### ●事業環境・市場動向

- ・世界的な脱炭素化の進展を背景に、CO2排出削減に資する設備投資が拡大
- ・石油・ガス等のエネルギー関連産業では、安定供給に加え、低炭素化対応など社会課題への対応が求められ、設備更新・改修投資が拡大
- ・サプライチェーン強化を背景に、国内設備投資の機会が拡大



### ●主要戦略

#### ①カーボンニュートラルに貢献

- ・電炉化に伴う大型投資案件に対し、提案力と遂行力を強化し受注拡大と確実なプロジェクト推進を図る
- ・水素活用を核としたGXスチール関連プロジェクトへ、エンジニアリングで貢献

#### ②エリア戦略

- ・九州エリアの組織体制を最適化し、エリア密着型の事業展開を強化
- ・非鉄精錬分野におけるリサイクル関連大型プロジェクトへの参画

#### ③電力供給設備のリノベーション推進

- ・発電所付帯設備の更新・改修需要に対し、設計・施工から保守までの一貫対応力を強化する
- ・次世代エネルギー対応および生産能力増強に伴う受変電設備案件の獲得を推進

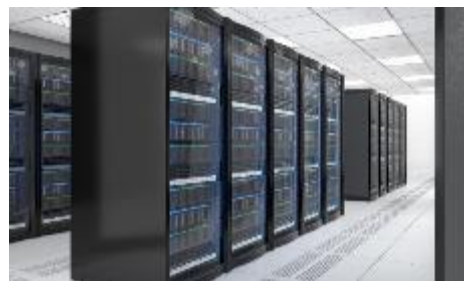
#### ④重点コンビナート向け事業への深耕

- ・既存アセットを有効活用する更新・改修提案を強化し、顧客設備の最適化に寄与する
- ・コンビナート共通の課題（安全・省エネ・保全効率等）を起点に、ソリューション領域を拡大

## ■ 公共・建設・データセンター事業で社会インフラの発展に貢献

### ● 事業環境・市場動向

- ・ インフラ設備の老朽化を背景に、需要は新設中心から更新・改修へ移行
- ・ クラウドや生成AI需要の高まりでデータセンター関連投資が加速
- ・ 設備業界では、データセンター・半導体工場向け案件が高水準で推移
- ・ 環境負荷低減を目指す次世代エネルギーに関する研究開発投資が活発化



### ● 主要戦略

#### ① 公共ビジネスの拡大

- ・ 老朽化に伴う上下水道施設の更新需要に対し、計画・設計から更新工事まで対応領域を拡大
- ・ 空港関連ビジネスへの取組みを強化し、事業領域の拡大と元請け案件の獲得を推進

#### ② データセンタービジネスの強化

- ・ 海外製空調機・特殊空調機の販売を拡大し、直接液冷システムを含む高効率冷却ソリューションを推進
- ・ コンテナ型データセンターの需要を見据え、ユーティリティー括構築モデルの事業化を加速

#### ③ ビルソリューション事業の取組み

- ・ 機器販売から施工・保守サービスまでグループ一体のトータルサポート体制を確立
- ・ 基盤事業の強化とデジタル活用による空調制御ソリューションの創出

#### ④ 電力ビジネスの創出

- ・ 電力事業者ニーズに基づくソリューション提供を通じ、新領域の事業機会を拡大
- ・ 研究施設分野への取組みを始め、中長期的な事業拡大につなげる

## ■ 高付加価値ソリューションで、鉄道の安全・安定輸送に貢献

### ● 事業環境・市場動向

- ・ 鉄道インフラの老朽化と人材不足を背景に、保守作業の効率化や維持管理コスト削減を目的としたニーズが拡大している
- ・ デジタル化や自動運転等の新技術導入で、運行の効率化と安定性向上
- ・ 沿線開発・流通・レジャー等の非鉄道事業投資拡大



### ● 主要戦略

#### ① 車両メンテナンス事業強化

- ・ 車両改造案件でのプロジェクトマネジメントを強化し、本格展開を進める
- ・ パートナーとの連携強化による車両機器メンテナンスサービスの提供領域を拡大

#### ② 設備保守のDXソリューション創出

- ・ 状態監視・予兆保全等のデジタルソリューションにより、鉄道設備の保守管理高度化を支援
- ・ 遠隔監視・自動診断の導入を加速し、保守・点検業務の効率化推進

#### ③ 非鉄道事業の領域拡大

- ・ 駅ビルや商業施設等における保守サービスからリニューアルまでを包括的に提供
- ・ デベロッパー業界へのアプローチ強化により、案件獲得チャンネルを多様化

#### ④ 受変電設備事業の推進強化

- ・ マルチベンダー対応とグループ連携を軸に、受変電設備案件の競争力強化
- ・ コア技術を活かした次世代型(デジタル)変電所と非常用発電設備を戦略分野とし、提案活動を強化

## ■コア技術2.0による価値創出と収益拡大

### コア技術2.0への進化と成長

デジタル融合による現場DXで、  
運用・施工・保守の高度化を実現

コア技術 1.0

コア技術 2.0へ  
進化と成長



### ① エンジニアリング力による収益向上

- ・デジタル領域のリスキリングを推進し、「コア技術2.0」を担う人材を計画的に育成
- ・コア技術2.0の展開により、生産性と付加価値の向上を図る
- ・グループ連携強化とパートナー企業との協業拡大
- ・3コア技術の横展開と適用領域拡大により事業機会を創出

### ② 西日本拡大とエンジニアの全体最適配置

- ・西日本地区の設備投資需要に対応できる体制の整備
- ・全社視点で人材配置を最適化しリソース活用の効率最大化を図る

### ③ キャリアパス構築

- ・新たな職群制度（エキスパート職）を整備し、エンジニアの中長期的キャリア形成を支援
- ・エンジニアリング部門の組織基盤を強化しエンゲージメント向上を図る

## 5. 事業戦略（4）グループ会社

# ■グループ連携によるグループシナジーの最大化

- グループ会社各社の強みを改めて整理し、再定義と「真のグループ連携」の基盤を作る

### 【グループ連携：重点施策】

八洲ファシリティサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外製空調機から直接液冷システムまで、データセンターの冷却設備保守ニーズを取り込み、リカーリングビジネスを強化する</li> </ul>
八洲産機システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変圧器をはじめとするユーティリティ設備を軸として大規模開発案件へ参画</li> </ul>
八洲制御システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八洲ブランド「YASHIMAX」の認知向上と提案力強化による販売拡大</li> </ul>
八洲冷熱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旺盛なデータセンター需要や、成長が期待される空調・給排水衛生設備工事事業へ経営資源を集中</li> </ul>
中国パワーシステム 西日本パワーシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国・九州エリアの電力事業者向けソリューション案件を推進</li> </ul>
八洲プラント建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・高品質な施工力を強みとする特別高圧・高圧の電気工事を主力に、関連工事分野へ事業領域を拡大</li> </ul>
東京キデン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八洲電機の顧客基盤を活用し、レンタル事業を展開・拡大</li> </ul>

## 5. 事業戦略（5）業績目標

### ■ 社員の幸せが原動力となる循環型成長の実現



Happiness2028  
中期経営計画

最終年度 目標

売上高

850億円

経常利益

95億円

経常利益率

11.2%

# 6. 社会貢献

## ■ 環境・次世代との共生を通じた社会価値の創出

### ● 産学協創への橋渡し役 — 公益財団法人 八洲環境技術振興財団 —

#### 設立趣意

八洲電機(株)創立70周年(2016年)の記念事業として2013年に設立。  
大学等の研究機関に従事する研究者に対し、太陽エネルギー、水力、風力等の再生可能エネルギーやエネルギーの効率利用を一層求めた省エネルギー関連技術等の研究活動への助成事業を行う。

#### ■ 法人概要

代表者

理事長 清宮 茂樹

活動計画

1. 研究開発・調査助成
  2. 国際会議・研究発表会等の参加及びシンポジウム等の開催への助成
- ・ AI・デジタル技術による環境研究支援や産学の垣根を越えた成果創出、人材育成、国際交流を一層強化する
  - ・ 企業の知見を生かした産学協創の推進は不可欠と考え、財団は研究者と産業界をつなぐ“橋渡し役”を強化し、未来を拓く基盤づくりに努める

活動指針



八洲電機株式会社  
公益財団法人 八洲環境技術振興財団



# ヤシマ 八洲電機株式会社

Yashima Denki Co., Ltd.

〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号

TEL: 03-3507-3711

<https://www.yashimadenki.co.jp/>

© 2026 Yashima Electric Co., Ltd.